

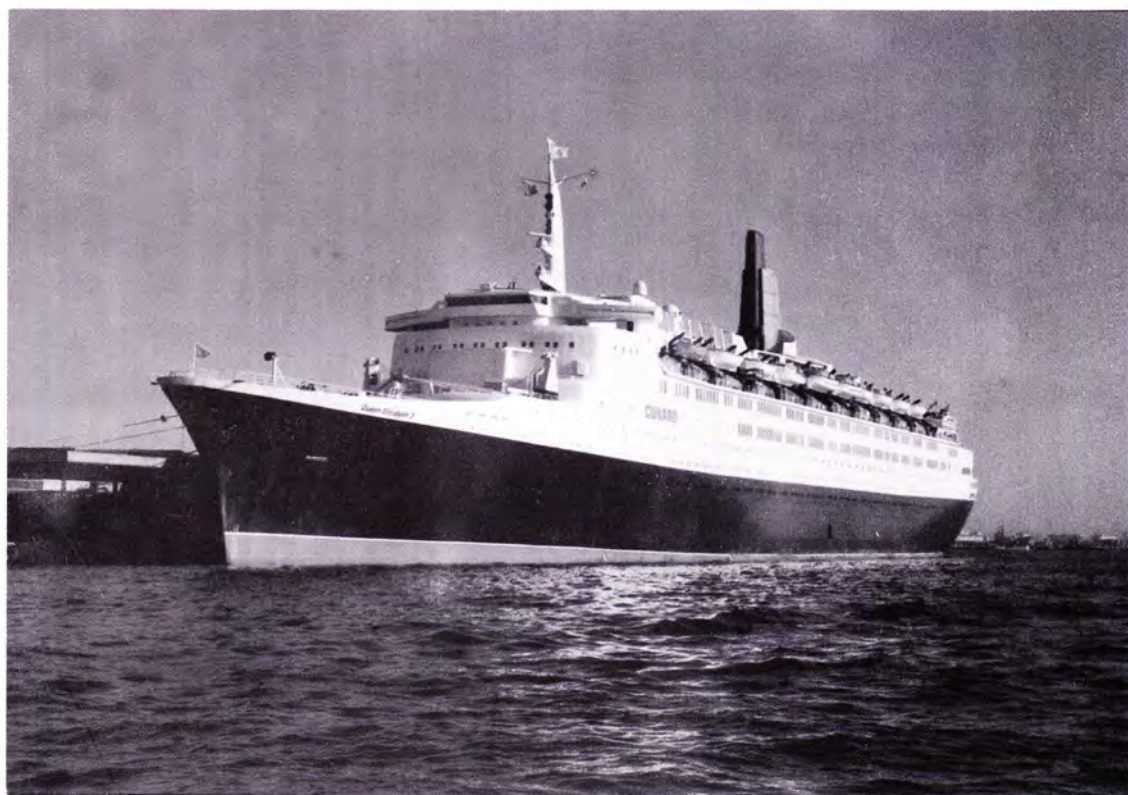
# 浄青神奈川

神奈川浄青機関紙

Vol. 17

1990.6.1

大本山光明寺御法主 藤吉慈海台下御染筆



●発行所 鎌倉市材木座6-17-19 光明寺中神奈川教務所内  
浄土宗神奈川教区青年会

●発行人 小松崎 成 法

●編集委員会 永 原 道 雄      宮 林 雄 彦      夏 見 裕 貴  
杉 田 俊 一      瀬 高 順 教      田 辺 裕 誠  
新 原 千 春      三 荒 弘 道      柴 田 幸 博



このたびの役員改選で、神奈川区浄土宗青年会の第八代会長を拝命いたしました。

私自身、もとより浅学非才の身ではありますが、前会長、野呂上人を初め歴代会長の後を引き継がせて頂くことは、たいへん責任の重いことで一抹の不安がありますが、今までの神浄青の活動の

火を消すことなく  
会員皆様方の御協力のもと、任期中  
一生懸命に努力してゆきたいと存じます。

二十一世紀まで  
十年と迫ったいま  
世界の動きが混然として  
いるなかで、国家、政治、  
宗教を越え、人間としての自由を  
求める声があちらこちらで  
叫ばれ、ひとり一人の生命の尊  
厳さが痛感させられます。

私たちの住む日本も、物質的には  
豊かな国になってきましたが、精神  
面では、なにか欠けているように思  
えてなりません。

社会全体が物質面と精神面でアン  
バランスになっている風潮の中で、  
仏の教えを基本とした、精神面の一

## 「融合の時代を迎えて」



第八代神浄青会長

小松崎 成法

そのの教化が大切だと思ひます。  
そのためには我が心の深底にある  
煩悩を深く見つめ、そんな己を救つ  
てくださるお念仏を私たちにお伝え  
下さった法然上人の教えを深く信じ、  
宗門僧侶として恥ずかしい行動、  
生活を送りたいものです。  
一人で出来得ぬことも、多くの  
方々の力が結集されると、必ず成し  
とげられます。ともに悩み、苦しみ  
つつ、その実現に邁進して行くのが  
神浄青の力だと信じております。

本年度は、関プロ担当による全国  
浄土宗青年会中央研修会が、横浜で  
開催される運びとなっています。研  
修会や講習会は参加すれば良い、と  
考へがちですが、宗門僧侶としての  
自覚にめざめ、真に実のある研修会  
にしたいと念願しております。不肖  
の身ですが、教区内諸大徳、神浄青  
皆さまの御力添えをいただきまして  
精進努力する所存です。  
何卒、諸大徳皆さまの神浄青に対  
しましての御教導を御願い申しあげ  
就任の挨拶といたします。

## 平成二年度事業計画

- 4月21日 金沢母子寮  
花祭り愛のプレゼント
- 4月21日 神浄青定期総会
- 5月22日 鶴ヶ岡会館  
第1回理事会・新旧役員歓迎会
- 6月1日 神浄青機関紙発行
- 6月13～14日 東京・増上寺  
第18回関プロ総会並びに研修会
- 6月25～26日 湯本ホテル  
全国布教師大会参加手伝い
- 7月4日 開山忌前清掃奉仕
- 7月4日 第2回理事会
- 7月28～30日 夏期僧堂手伝い
- 8月28～29日 ホリデイ・イン横浜  
第20回全浄中央研修会
- 9月上旬 第3回理事会
- 10月4日 第8回神浄青ソフトボール大会
- 10月9日 十夜前清掃奉仕
- 10月9日 第4回理事会
- 10月14日 十夜手伝い・十夜街頭伝道
- 10月23～24日 山梨・石和  
第8回関プロソフトボール大会
- 未定 第16回全浄代表者研修会
- 12月上旬 第5回理事会
- 1月25日 別時念仏会
- 2月下旬 ハワイ開教区 視察
- 3月下旬 第6回理事会



## 平成二年度役員名簿

|       |      |      |     |     |     |     |     |     |        |        |        |        |        |        |        |     |         |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|---------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 副会長   | 事務局長 | 監事   | 会   | 書   | 編   | 編   | 集   | 員   | 京浜常任理事 | 港北常任理事 | 港南常任理事 | 高座常任理事 | 鎌倉常任理事 | 三浦常任理事 | 中郡常任理事 | 理   | 小田原常任理事 |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 小松崎成法 | 北野賢  | 日比野隆 | 戸松俊 | 鳥居真 | 松井清 | 吉水祥 | 松江健 | 永原道 | 杉田俊    | 田辺裕    | 新原千    | 夏見裕    | 宮林雄    | 柴田幸    | 瀬高順    | 三荒弘 | 古庄良     | 佐々木敬 | 横井隆 | 平元易 | 山沢浩 | 石川順 | 瀬高順 | 渋谷聡 | 玉木雅 | 富田浩 | 村井昭 | 井上孝 | 池田敬 | 三荒弘 | 都築顕 |



## 他宗教見学

「阿含宗」を訪問して

恒例の他宗団見学は、去る二月十二日に会員多数の参加をみて、実施された。今回我々が訪れたのは、その善し悪しは別にして、マスコミ等で何かと話題の多い桐山靖雄師率いるところの阿含宗、その関東別院（東京三田）である。

当日は、午前十時前に到着。挨拶もそこそこに、さっそく内部施設の見学にとりかかった。

信者さんの称える「仏説阿含経」を横に聞きながら、御本尊スリランカ伝来の真正仏舎利様の鎮座なさる本殿へと足を踏み入れる。さすがに諸設備は、至れり尽くせりの豪華版である。特に通信衛星を利用して、各地の拠点を結び、居乍らにして、御教祖様の尊顔を拝める、等の演出を可能にするシステム群は、圧倒的である。マスメディアやハイテクを駆使して、教線の拡張を計る、この教団の御自慢であり、面目躍如と言った感がある。

ささやかな昼食にありついた後、今年行なわれた大柴燈護摩のビデオを見る。護摩の炎と、折からの昼下りの倦怠感の中で、しばし夢幻の境地をさまよう。

さて、頭がスッキリした所で、当日のメインイベントである質疑応答

へ移ろう。この日我々のお相手をつとめてくれたのは、YANなる若手エリート集団に所属されるお一人である。紙幅の関係で、その内容を御紹介できないのが残念であるが、かのエリート氏は、さすがに切れ者だ。我々の質問が、予め見透かされていた面もあるのだろうが、少しの淀みもなく、たんたんと答えてゆく。もちろん、その回答自体は、多くの矛盾を含んでいるのだが、彼の自信あふれる堂々とした応対ぶりに接すると、妙に納得させられてしまうものがあるのだ。

まあ、とにかく質疑応答も滞りなく終了し、最後に、護摩の炎の中に諸仏諸菩薩が顕現するという、真に有り難いビデオを見せて頂き、一同大感激の内に、今回の他宗団見学も無事お開きとあいなった。（国松記）



## 第七回神浄青ソフト

転じて

### ボーリング大会

於・戸塚ドリムランド

（元・10・4）

恒例の『神奈川教区長杯争奪・神浄青ソフトボール大会』は、平成元年度、第七回目の大会を迎えることとなった。

今回は、港南の担当で、芝生の緑も鮮やかな昭和電工総合グラウンドで行なわれる予定であった。

ところが当日の十月四日（水）は前夜から降り続いた雨が朝になって小降りになったものの、グラウンドのコンディションがすぐれず、残念ながらソフトは中止となった。

というわけで、会員諸兄の不満の嵐の嵐の中、場所をすぐ近くのドリムランドのボーリング場に移して急きょ『神奈川教区長杯争奪・神浄青ボーリング大会』の実施とあいなった。くじ引きによるチーム分けの後、12のレーンに分かれて試合開始。ソフト中止の憂さを晴らすかのよう、それなりの盛り上がりを見せ、試合終了後はなごやかに親睦会がとりおこなわれた。なお、上位成績者は次のとおりです。  
1、MVP賞

## 総会報告

神浄青総会が、四月二十一日に大本山光明寺にて開催されました。

開会の辞に続き、野呂会長挨拶。会長は二年間の任期を大過なく全う出来たことに感謝の意を表しました。続いて議長土川師を選任して議事に移り、平成元年度事業報告と同じく会計報告を受けました。

次に新役員の承認と新執行部の発表があり、小松崎新会長は、前会長の足跡を踏まえて邁進することを誓いました。

議事に続き、加行成満者の発表と、藤吉御法主御染筆の色紙と浄青袈裟を贈呈致しました。

終わりに副会長北邨師より閉会の言葉があり、神浄青の今後の益々の発展を祈りつつ総会は終了致しました。



優勝チーム

京浜

3 ゲームトータルハイスコア

4 94点 野呂上人

2、HIゲーム賞

柴田上人

2 14点 小田原

10ヶ

3、ストライク賞

小田原

3 ゲームトータル

森上人

小田原

森上人



— お釈迦様の教えにふれ・体験する一日 —

## 「第二回帰敬会」

平成元年十一月二十五日

於・大本山 光明寺

平成元年十一月二十五日、第二回帰敬会が晩秋の大本山光明寺に於て開催され、檀信徒など在家青年四十一名と浄青会員三十余名が、僧俗一体の仏教入門道場を修了した。

今回の帰敬会の特徴は、前行（浄土宗の威儀作法）の時間を新しく設けたこと（前回はオリエンテーションの中で簡単に説明した）と、勸誡師に神浄青の先輩、小田原組の石川



邦雄師（前回は土屋光道師）にお願いしたことで手作りの感触が増したことである。

数えて第二回目にしては、よく企画し洗練された内容との評価もあり、特に、最後の帰敬式はアンケートで分かる通り、感動あふれる演出効果があったようである。また前回より日程に余裕をもたせたために、整然とした落ち着きが終始感じられた。

準備から当日に至るまで順調に進行したが、受者の募集、或いは受者のアフタケアの点で不満が残る。私自身も二十人程の心当りの檀信徒に呼びかけたけれど、敬遠されがちであった。しかし、会員一人が一名の参加者を集めるだけで百名を越すはずである。とかく閉鎖的と誤解されがちな仏教界でも、このような一般人に開放された活動を続けているとのPRを兼ねて、貧欲なまでに大衆の中へ、檀信徒青年男女の中へと斬り込んでゆくことが、教化の第一歩となるにちがいない。会員諸師のご努力をまつものである。

募集と同様甚だ困難なことに参加者に対するアフタケアがある。神浄青でも別時念仏開催時に、帰敬会参加者への呼び掛けを考えたが、機会あることに行事への参加を呼び掛け、



点から線へ、線から面へと関係を強化し発展させたいと思う。理想的には「浄土宗神奈川教区在家青年会」が組織され、独自の活動を展開してゆくということになるのだが……。

いずれにしろ今回の受者の方々には貴重な体験と勝縁にめぐまれたことを誇りに感じているようだ。あたたかも仏教という未知なる神秘の森に分け入った旅人が、一本の道標を見つける如く、強い信頼感をもって人生の方向について真剣に模索し始めることだろう。私たちは倒れた道標をまっすぐにし、新しい道標を分岐点に立て直さなければならない。

帰敬会という地味な行事が私たちに問いかけてくる問題は大い。それは私たちに仏教者としての姿勢を問うているということを深く自覚して、次回の帰敬会に臨みたいと思う。





## 自慢コーナー

### 誰でも出来る

### 点訳ボランティアをめざして



京浜組 古庄 良 源

このコーナーは会員のユニークな活動を紹介しています。  
古庄会員は新聞等にも掲載されました。

点字も最近では、駅の券売機や、デパートのエレベーターなど、いろいろなところに見られるようになりましたが、こと「本」に関しては、まだまだ満足な状態ではありません。例えば、私達が気軽に買ってきては読んでいるような文庫本も、点字にすると、B5判の大ききで、3〜4冊の本になってしまいます。しかも、それらの多くは点訳ボランティアの手作業によるものが圧倒的で、大変な労力と時間がかかるものです。この煩雑な作業を、何とかもう少し楽なものにして、もっと多くの方々に点訳ボランティアに参加してもらいたい。そんな願いから、「パソコン／ワープロ点訳」が始まりました。

「パソコン／ワープロ点訳」とい

うのは、パソコンやワープロを使って、点訳用のデータを作り、これを点字プリンタという機械で点字出力させてしまおうという、いわば「点字の電子化」ともいうべき活動です。こうすれば、点字をボツボツ打つような、煩雑な手作業は機械が受け持ってくれ、ボランティアはデータ入力にのみ専念すればいいことになります。

例えば、仏教の典籍を、ひらがなで、点字の書き方の規則に従って、ワープロで入力してゆく。いまやこれだけで、立派な点訳ボランティアが出来るようになりました。

これらの活動をもっと大きな流れにするために、私はNIFTY-Serveという、大手の通信ネットで「パソコン／ワープロ点訳」の仲

間を呼びかけました。その結果、多くの仲間、協力のおかげで、点訳用の無料のソフトウェアまで出来上がり、「パソコン／ワープロ点訳」は、徐々に日本中に広がっています。どうぞ浄青会員の皆さんも、一日のほんの何分かで結構です。小さな時間を割いて頂いて、パソコンやワープロに向って頂き、お手元の仏教



点訳ボランティアの仲間とともに

左 古庄会員

書をかんで入力してみて下さい。必ずやそれが、多くの視覚障害者の「心の灯」となり、心を照らす月影となつてゆくに違いありません。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## 訃報

謹んで哀悼の意を表します。



小田原組  
本誓寺

成田光弥上人(29歳)

(2・4・12)

平成二年四月十二日、神浄青会員小田原組・本誓寺第二八世、成田光弥上人が遷化されました。行年二十九才。大正大学国文科を卒業後、二六才の若さで住職を拝命しましたがしばらくして体の不調を訴え、小田原市立病院に入院しましたが、病状は一進一退を繰り返しておりました。しかし、今年になって病状が悪化。癌だと分つた時の家族の心境はいかばかりかと拝察されます。時に四月十二日午前一時、家族に見とられながら往生であつたとの事です。葬儀当日は、冷たい雨の中で門中・小浄青会員等はお念仏の声が流れる中でお見送り致しました。空蓮社観音上人莊嚴浄土、南無阿

弥陀仏。 合掌



これが本当の愛のプレゼント？  
—花まつり愛のプレゼント—  
90・4・21



# 新森本キヤメラマンの見逃してくれよ

結局人生やったもん勝ちよ!!



母ちゃん ゴメン  
— 1泊理事会 南風荘—  
90・2・22



ナイス・ストライ〜ク  
—ボーリング大会—  
89・10・3



これが本当の私達です  
—十夜法要・念仏行進—  
89・10・14



おやすみなさい  
—関プロ研修会—  
89・6・6〜7



こちらを見ているのが  
—総会— 編集長です—  
90・4・21



第20回  
全国浄土宗青年会  
中央研修会



***Exciting Yokohama***

—— 満足させましょう ——

**1990. 8. 28 ~ 29**





## 山下公園

### YAMASHITA SEASIDE PARK

約74,000㎡の広さをもつ臨海公園です。関東大震災のガレキを埋めて造られました。園内には「赤い靴の少女像」「カモメの水兵さんの歌碑」「氷川丸」「インド水塔」「港内遊覧船」などがあります。大桟橋に停泊中の船はノルウェーの豪華船「ロイヤルバイキングスター」です。

## 編集後記

「静岡教区?」「肉屋のない街」となじられ、日々魚しか食べられないと思われている田舎者です。今年度より、編集委員を仰せつかり、Nの温かいお気持で、この文章を書かせて頂いている次第です。今、夜の11時。まだまだ終りそうにありません。ジミな仕事です。でも皆さん頑張っています。阿弥陀さまのお慈悲を頂きつつ、新人の私は委員の皆さんの足を引っ張らなければいいと考えています。ナム。(T)

初めての編集会議。そして編集委員としての最初の仕事これであります。編集も我々新人が遺憾なくニューパワーを発揮するつもりでしたが、何分にも不慣れなため戸惑うばかりで、先輩方のご苦勞がよく解りました。感謝致します。

『浄青神奈川』を読む側から作る側に回り、今後も読者の皆様の目に留まるような紙面作りに努力していきたいと思しますので、ご意見、ご感想をお待ちしております。(S)

